

県政の動き

2月20日(火)～4月20日(金)

★は写真入りで紹介

2月28日(水)

★焼酎学シンポジウムinあまみ「奄美の食と黒糖焼酎」

3月3日(土)

★南九州西回り自動車道開通

3月3日(土)～4日(日)

★半島隔くじり元氣市

3月9日(金)

かごしま子ども未来フォーラム

3月10日(土)

★名古屋における知事トップセールス

3月11日(日)

春の「郷土」に学び・育む青少年運動「月間あいさつ」声かけ実践街頭キャンペーン

3月13日(火)・17日(土)・18日(日)

★肥薩おれんじ鉄道開業3周年記念PR活動

3月16日(金)

★九州新成長の時代とかごしま産業おこしへの挑戦

3月17日(土)～18日(日)

地域再生シンポジウム

3月21日(水)

さつまの伝統的工芸品フェスタ

3月23日(金)

東九州自動車道 鹿屋串良IC～大隅IC間起工式

3月23日(金)

与論港コースタルリゾート完成

3月30日(金)

かごしまかごと100選「四季の旅」浪漫の旅完成

3月30日(金)

語り継ぐかごしまの教え集「少女女へのメッセージ」完成

4月1日(日)

地域振興局・支庁の設置

4月1日(日)

鹿児島空港開港35周年記念行事

4月11日(水)

第30回県立農業大学校入学式

4月11日(水)～12日(木)

★さんふらわあ利用促進ミッション

4月16日(月)

★第25回知事と語る会

2月28日(水)

焼酎学シンポジウムinあまみ「奄美の食と黒糖焼酎」

鹿児島が誇る焼酎文化の発展や人材育成などを目指し、平成18年4月に鹿児島大学に開設された「焼酎学講座」の第3回シンポジウムが「奄美の食と黒糖焼酎」をテーマに奄美市で開催された。

食文化研究家久留ひろみさんは、長寿の要因として黒糖焼酎などの奄美独特の食習慣や環境をあげた。また同講座客員教授の小泉武夫東京農業大学教授は、海外での和食人気を踏まえ、今後、島の焼酎が世界的蒸留酒となるように期待しており、それには組織的に展開していくことが必要と提案された。



3月3日(土)

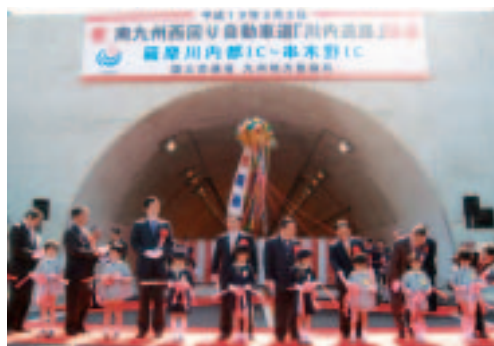
南九州西回り自動車道開通

南九州西回り自動車道の串木野インター～薩摩川内都インター6.5kmが無料開通した。

これにより、鹿児島インターから薩摩川内都インター間が約30分で結ばれ、地域経済のより一層の活性化が期待される。

当日は、地元保育園児も参加して、テープカットなどにより、開通を祝った。

また、開通を目前に控えた2月25日にはウォーキングやジョギングなどの記念イベントが行われ、約1300人の参加者が開通前の高速度路からの景観を楽しんだ。



3月3日(土)～4日(日)

半島隔くじら元氣市

3月3日・4日の2日間にわたり、鹿児島市本港区のドルフィンポートにおいて、「半島隔くじら元氣市」が開催された。会場では、半島先端部地域の南さつま市、錦江町、南大隅町、肝付町の海産物、農産物、加工品などさまざまな特産品の販売をはじめ、「半島めぐりバスツアー」の招待券が当たる抽選会や「半島なるほどクイズラリー」が行われるなど、半島先端部地域の魅力が存分に紹介され、終日多くの来場者でにぎわった。



3月10日(土)

名古屋における 知事トップセールス

3月10日から11日まで量販店ユニー・アピタ鳴海店において「鹿児島フェア」が、また、3月8日から13日まで、丸栄百貨店において「第47回大



鹿児島展」が開催された。この開催に併せて、3月10日に伊藤知事がトップセールスを実施した。

ユニーにおいては、県経済連会長とともに、来店者へ、ばれいしよ、そらまめなどの春野菜をPRするとともに、丸栄百貨店においては、本県出身の俳優榎木孝明さんと鹿児島県の観光や食について語り合い、県産品や観光を大いにPRした。

3月13日(火)・17日(土)・18日(日)

肥薩おれんじ鉄道 開業3周年記念PR活動

肥薩おれんじ鉄道が、3月13日で開業3周年を迎えたことから、これを記念して、同日に鹿児島中央駅で、3月17日・18日に博多駅でPR活動を行った。

鹿児島中央駅では、同鉄道の社長をはじめ、沿線のミス鶴むすめ、シークイーンあくね、ミス薩摩川内や日奈久温泉の女将さんたちが、おれんじ鉄道の案内チラシや沿線市町の観光パンフレットを大勢の方々に配布してPRした。

また、博多駅では、チラシの配布とあわせて同鉄道のPRクイズ大会も実施し、大勢の来場者でにぎわった。



3月16日(金)

九州新成長の時代と かごしま産業おこしへの挑戦 地域再生シンポジウム

大学や試験研究機関と産業界の連携によるイノベーション・新規創業などの取組を促進することを目的としたシンポジウムが開催され、約200人が参加した。



基調講演では、富士ゼロックス株式会社代表取締役社長有馬利男さんが、「地域においては、その地域の特性を生かした産業の独自開発・育成が重要である」と提言したほか、パネルディスカッションでは、「真に産学官が連携し地域産業を活性化していくためには、産学官それぞれの内部の連携と、組織をつなぐ人と人との連携が重要である」などの意見が出された。

4月11日(水)～12日(木)

さんふらわあ利用促進 ミッション

去る3月28日に存続の決まった志布志・大板航路について「県民の航路」として県民への利用を呼びかけるため、知事を団長とし、県内各種団体の代表により組織された「さんふらわあ利用促進ミッション」約50人がさんふらわあに乗り込み、地元志布志市の子供たちが演奏するちりめん太鼓の演奏に送られ関西へ向けて出発した。



船内においては、船長も参加してのレセプションが行なわれ、同航路の維持・存続に向けた関係者間の親睦が深められた。
到着後は運航事業者を訪ね、今後の利用促進について意見交換を行うとともに、関西の旅行者者の団体に対するトップセールスを行った。

4月16日(月)

第25回知事と語る会 (鹿屋市・東串良町)

第25回知事と語る会が鹿屋市体育館で開催され、約200人の方々が鹿屋市などから参加した。大隅半島の産業振興や道路整備など、さまざまな質問・要望があり、伊藤知事と意見交換した。また、伊藤知事は語る会にあわせて、鹿屋市・東串良町の農業施設や自治公民館活動などを視察した。



知事と語る会のようす。



県立鹿屋農業高校を視察。

カジノ活況！経済発展著しい澳門

鹿児島県香港事務所 吹留誠吾



▲有名な観光名所の一つであるセナド広場には、ヨーロッパ風の建物が建ち並んでいます。

みなさんは、この漢字「澳門」をどう読むか、ご存じですか？そうです、これは、「マカオ」と読みます。香港がイギリスから中国へ返還された2年後の1999年12月、同様にポルトガルから中国に返還された、人口約50万人、面積は鹿児島市の約2分の1の小都市です。今、マカオは、その急速な経済発展で大きな注目を集めています。私の住む香港からは高速フェリーで約1時間と近く、私もこれまで3回、仕事やプライベートで出かけています。

昨年、マカオの発展を象徴するような二つの数字が発表されました。一つは「最大産業であるカジノの売上高が、あのアメリカ・ラスベガスを上回った」、もう一つは「中国本土からの個人観光客数が、香港を上回った」というもの。前者は、中国で唯一のカジノ都市であるマカオに、中国のお金持ちがやってきては大金をつぎ込んでいくこと、後者は、カジノ客に加え、2005年に世界文化遺産登録を受けた市内30カ所の歴史的建築群目当ての観光客が増え、またそれに対応できるだけのホテルの新設も進んでいることなどが大きな理由とされています。

勝った相手が、ラスベガスと香港ですから、その勢いに驚かされます。実際、足を運んでみますと、昼間は、「スピード都市 香港」とはまた全く違った、本島の離島のようなどこかほっとする雰囲気もあり、カジノに代表される夜の顔とのギャップもまた魅力の一つかもしれません。

日本でも、カジノ論争が浮かんでは消えしますが、マカオはまさに、カジノを活用した地域振興の成功事例といえるかもしれません。



▲西洋、東洋の文化が混じり合うマカオの街並み。

PRESENTS

プレゼントコーナー

「鹿児島の特産品」

県内各地の「スペシャル」な逸品をプレゼントします。

「大島紬ストラップ」と「紬コースター(3枚)」を抽選で3名様にプレゼント。



30数工程にも及ぶ緻密な手作業によって織り上げられる大島紬。染めと織りの美しさで絹織物の頂点に立ち、女性のあこがれの着物として人気があります。

近年は、和装だけでなく、洋装やインテリア雑貨などにも活用されています。

【本場大島紬織物協同組合】
〒890-0072 鹿児島市新栄町18-6
TEL 099 (254) 1185 FAX 099 (254) 1188

○応募方法／ハガキまたは電子メールに「グラフかごしま」に関するご意見・ご感想、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をご記入の上、下記までお送りください。いただいた個人情報は、プレゼントの送付以外の目的には利用しません。
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

○ハガキ宛先／〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 鹿児島県庁広報課「グラフかごしまプレゼント」係
○メールアドレス／h-kikaku@pref.kagoshima.lg.jp (件名は「グラフかごしまプレゼント」)

【締切】平成19年6月29日(金)必着

鹿児島に全国の伝統的工芸品が勢揃い!! 『全国伝統的工芸品フェスタ』開催! 《平成19年11月8日(木)~11日(日)》



「鹿児島ブランドショップ」(県産業会館1階)

かつおフェア

平成19年5月中旬

県内の特産品の問い合わせ、ご用命は
鹿児島ブランドショップへ

鹿児島県特産品協会
〒892-0821 鹿児島市名山町9-1
鹿児島県産業会館内
☎099-225-6120 FAX099-223-0755
店休日 第1・3日曜日 ●営業時間 午前9時~午後6時

東京店 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-6-4
千代田ビル3階 かごしま遊楽館内
☎03-3506-9171 FAX03-3506-9172

ホームページURL <http://www.kagoshima-tokusanhin.or.jp>

